北海道白樺高等養護学校
コミュニティ・スクールたより

～ 第 2 号 ～
令和8年10月30日（金）
北海道白樺高等養護学校
学校運営協議会事務局

■第２回学校運営協議会



10月19日（月）、第２回学校運営協議会を開催しました。今回は、普段の学習の様子や施設設備等を掛楽していただきました。その後、事務局から「本校の学習活動、教育課程等について」説明し、委員の皆様から感想や質問を受けました。

■授業・施設見学



辞令交付後、実際の生徒の様子を間近で見学しました。

１学年の作業学習では、受注作業（箱折り）を見学しました。一つ一つ丁寧に、また素早く作業することが求められます。

２学年の作業学習では、自学科実習の様子を見学しました。作業で作った製品は、しらかば展で販売します。一つ一つ心を込めて製作しています。

- 生産技術科、工業科～ミンチ、平板等のコンクリート製品
- 木工科～ベンチ、椅子等の木工製品
- クリーニング科～ワイシャツ、じゅうたんのクリーニング等
- 家庭総合科～エプロン、巾着等の縫工製品
- 窯業科～皿、茶碗等の陶磁器

３学年の教科学習では、保健体育科のバスケットボール、家庭科の調理を見学しました。本校では、その他に国語、数学、理科、社会、情報、音楽、美術、職業、体力つくりといった学習にも取り組んでいます。

せっかくの機会でしたので、寄宿舎の居室や娯楽室等も見学しました。

■本校の教育課程について

これまで、学習指導要領に沿った年間指導計画や単元計画の枠組み作りをしてきましたが、年間指導計画や単元配列、教科の全体計画等の検討が不十分だったり、キャリア教育全体計画の内容が、学習指導要領に沿っていない状況があったりしました。

そこで教育課程検討委員会が中心となり、各教科、学年、学科等のグループで全体計画の見直しを行っています。特に、キャリア教育に関しては、全体計画の見直し、全ての学習活動の中にキャリア教育の視点が含まれることを意識した授業改善を行っています。

また、本校の特色を生かし、作業学習や体力つくり、進路学習を大切にしながら、指導内容について改善するよう努めています。

その他に、ICT 機器の活用は、教育活動全体で取り入れ、iPad や Chromebook を授業で活用しています。体力つくりでタイムを計測、表示したり、クラスルームで生徒が共有したりしています。Google フォームで報告したり、調べ学習で発表したり、教職員から生徒へ連絡をしたりするなど、ICT 機器を活用しての学習活動は、すべての学校活動で広がっています。

■地域と連携・協働した教育活動

昨年度の就職や進学の実績は、一般就労 21 名(48%)、福祉的就労 22 名(50%)、進学１名（２%）でした（福祉的就労 22 名のうち 10 名が就労継続支援 A 型事業所)。希望の職場、職種の見学、体験の充実等を重視するとともに、知識を増やし、自己選択の幅を広げる必要があります。一般就労を目指すことが目的というより、希望の職場・職種を自己選択・自己決定できる

進路指導や意図的・計画的な学習指導等を進めることで、希望の就労 100%に近づけ、卒業３年後の就労継続 100%につながると考えています。
　また、地学協働の視点を取り入れながら、地域（北広島市、西部地区）との良好な関係を築くため、貢献活動や連携した活動を実施しています。生徒に勤労意欲や奉仕活動等の意識を高め、地域に根ざした学校となるよう、「つながる・つなげる」学習活動を実践することが重要です。
　太鼓部は、町内会の祭り、イベントに招待され、太鼓演奏をする機会や地域のバス停清掃を行い、西部地区の連合町内会から大変喜ばれています。また、本校の製品販売会「しらかば店」や北広島駅付近での販売会では、多くの方に製品を購入いただき、大変好評です。
　地域課題研究の学習では、地域の方に「地域の問題点を指摘いただき、大変助かっている。」特に、「輪厚三愛病院前の交差点の危険性については、交通安全の旗を立てることができた。今年度、事故が起きていない。」「地域の問題点を率直に発信するなど、大変ありがたい。大人が言えないことをはっきり言えるところがすばらしい。」など多くの賞賛の言葉をいただいています。

■教職員全体の協力により働き方改革の推進

　約５名程度が、時間外在校時間 45 時間を超えている状況です。超えた教職員とは状況を確認するようにし、行事等、時期的な理由が主な内容となっています。各自の業務や健康状況を確認し、可能な対応を検討するなど、取り組んでいきたいと考えています。なお、月 80 時間を超えている教職員は見られない状況です。
　また、月２回の定時退勤日を設定し、あらかじめ教職員へ伝えるなど業務に見通しを持てるよう推進しています。他には、長期休業中における年休等の取得の推進などに努めています。
　教職員の健康面に配慮していきたいと思っています。

■委員の皆様の感想、意見等



- 寄宿舎は自立に向けて学ぶことができるのではないか。
- 地学協働の視点から、クリーニング科の活動が地域になじんでいるのではないか。
- 働き方改革はとても重要である、卒業生と父母の会としては休日の活動となってしますが、先生方には御協力いただきたい。
- これまで、寄宿舎や食堂を見学する機会がなかったので大変良かった。
- 各学科の作業学習では、生徒がしっかりと説明できるのがすばらしい。また、挨拶も積極的である。
- 初めて校内の見学をしたが、どの生徒も真剣に取り組んでいた。今後も地域とのつながりを大切にしてほしい。

■今後について

　今年度も、様々な形で地域に出て、地域の皆様に本校についてさらに知っていただける機会となるよう取り組んでいます。委員の皆様からいただいた御意見等を参考にしながら、今後の教育活動に生かしていきたいと考えています。



　11 月 21 日（土）は、学校祭がありますので、ぜひ御来校ください。また、12 月 10 日（木）には、作業製品販売会「しらかば店」を開催しますので、こちらも本校生徒の活動の参観機会として御来校いただけたら幸いです。
　次回の学校運営協議会は、12 月を予定しています。よろしくお願いいたします。